

社内体制の構築

「患者の声を活かした医薬品開発」製薬企業向けシンポジウム



2021年10月4日

アステラス製薬 開発本部日本・アジア臨床開発第1部

山田絵美

アステラス製薬 経営理念, ASTELLAS WAY

アステラスの信条

アステラスの「信条」は、私たちが常に大事にする行動規範です。
アステラスは、これらの信条に共鳴し実践する人々の集団であり続けます。

高い倫理観

常に、高い倫理観をもって、経営活動に取り組みます。

顧客志向

常に、お客様のニーズを把握し、お客様の満足に向かって行動します。

創造性発揮

常に、現状を是とせず、未来志向で自己革新に挑戦し、新しい価値を創造します。

競争の視点

常に、視野広く外に目を向け、より優れた価値を、より早く生み出し続けます。

アステラスは、信条に則した行動を通じて、ステークホルダーの皆様への責任を適切に果たし続けるとともに、積極的な情報開示を行います。

Astellas Way

—One Astellasとしての5つのメッセージ—



患者志向／Patient Focus:

「この判断・行動は患者さんのためになるか?」と常に問いかけよう。



主体性／Ownership:

変化を先取りし、主体性を持って、常に挑戦し続けよう。



結果／Results:

「前例」にこだわらず、「結果」にこだわろう。



多様性／Openness:

多様性を取り込み、自由闊達なコミュニケーションで創造性を発揮しよう。



誠実／Integrity:

もし判断に迷ったときには「誠実さ」に立ち戻ろう。誠実さが全ての判断基準だ。

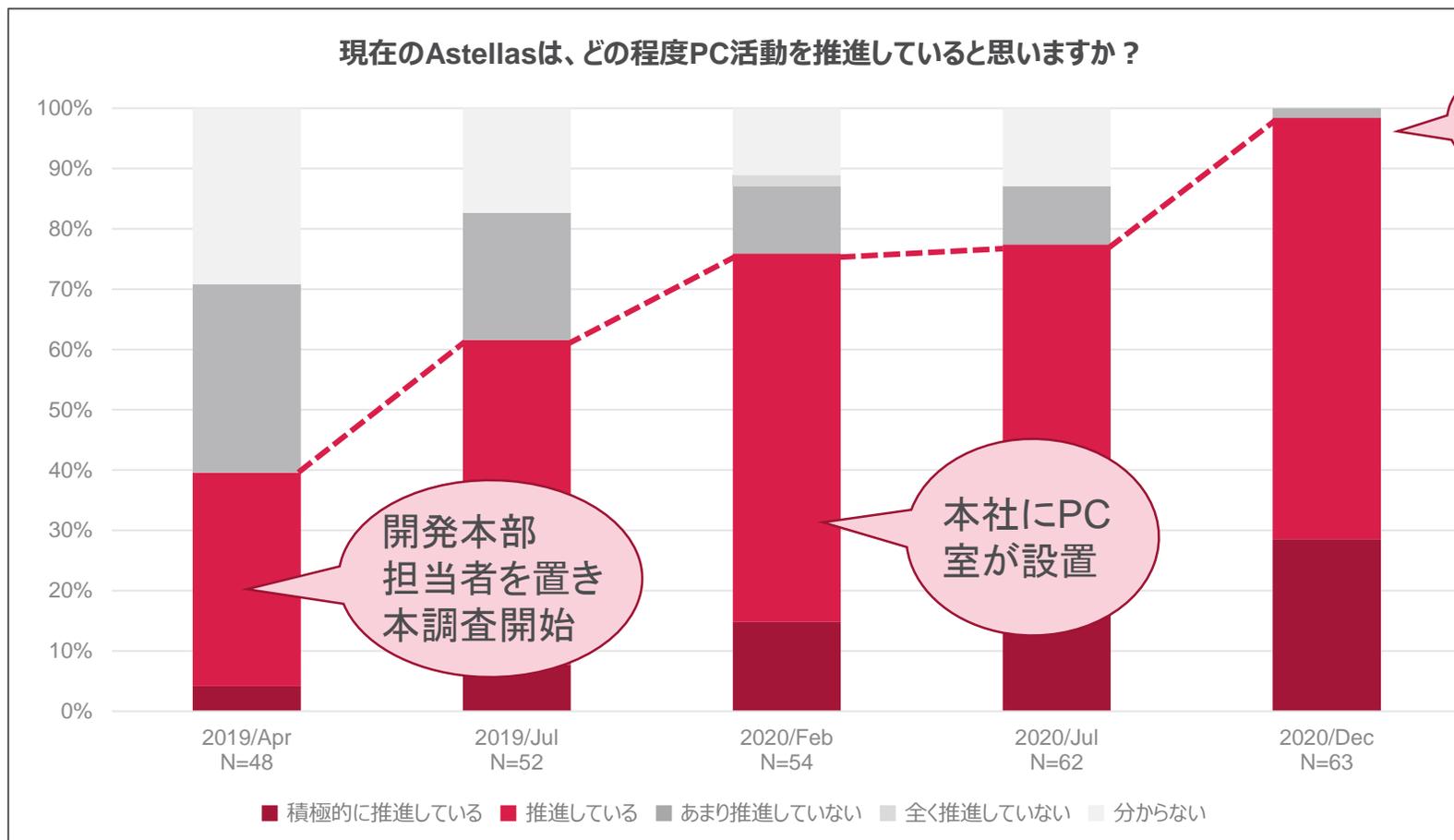
社内体制の整備

- 2018年度以前は社内にPatient Centricity専任の担当者はいなかった
- Patient Centricity活動(PC活動)を推進しようとしても,
 - 何から手を付けたらよいのか分からない
 - 患者さんにどのようにアクセスしたらよいか分からない
 - 患者さんと協働する際のSOP(標準業務手順書)が無い



時期	内容
2019年4月	開発本部にPatient Centricity推進担当を設置(PJ担当者ではない) (2020年4月にPatient Centricity専任担当に)
2020年2月	本社機能の中にPatient Centricity室を設置, 6月に日本, アジアの専任担当者を置いて実働開始

臨床開発部門における、PC活動に関するアンケートの結果



98%超！

開発本部
担当者を置き
本調査開始

本社にPC
室が設置

PC活動を通して、肯定回答率(積極的に推進している、推進している)が顕著に増加した。





患者団体と連携

- 関係構築・連携提案
- 患者市民参画促進



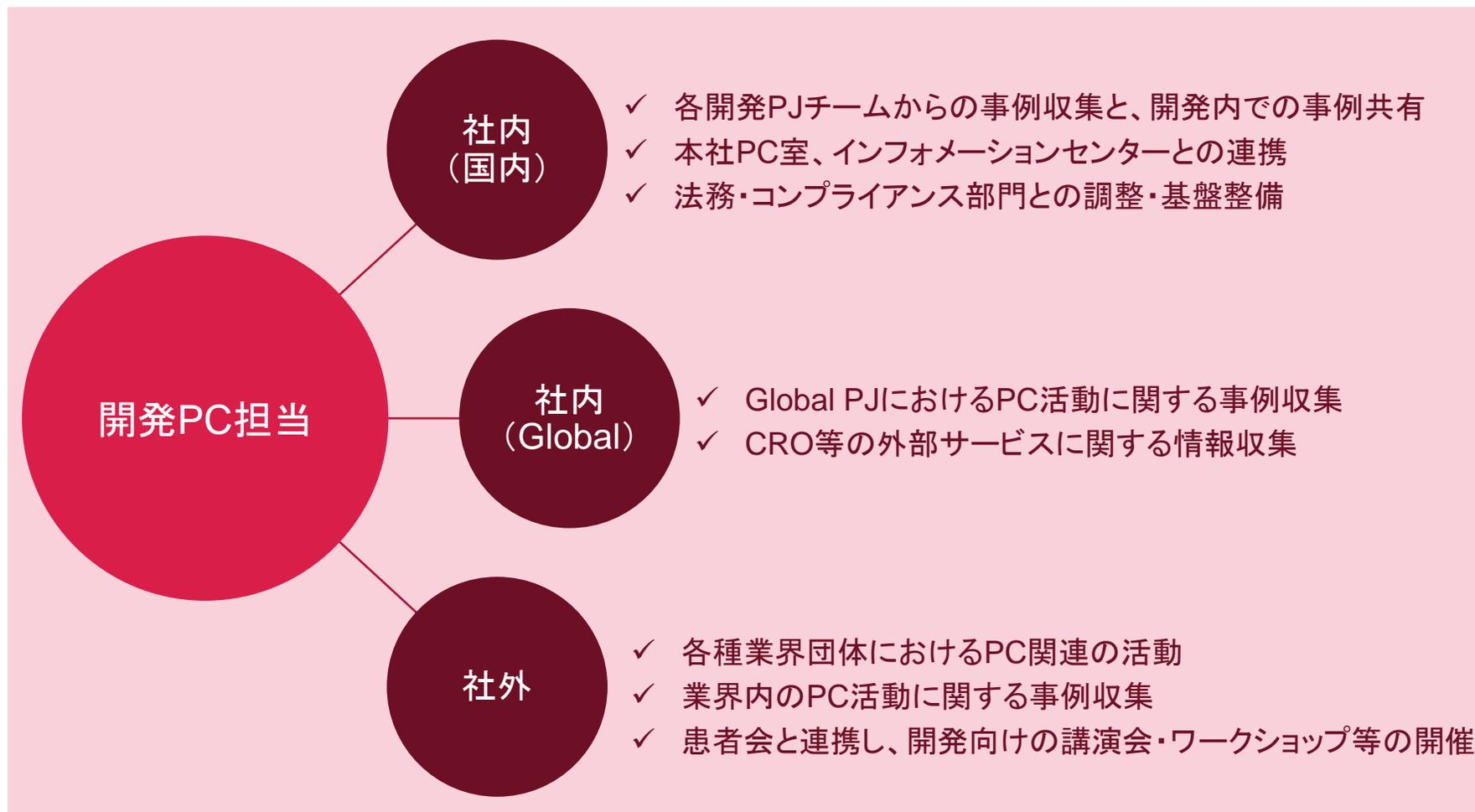
社内各ビジネス部門と連携

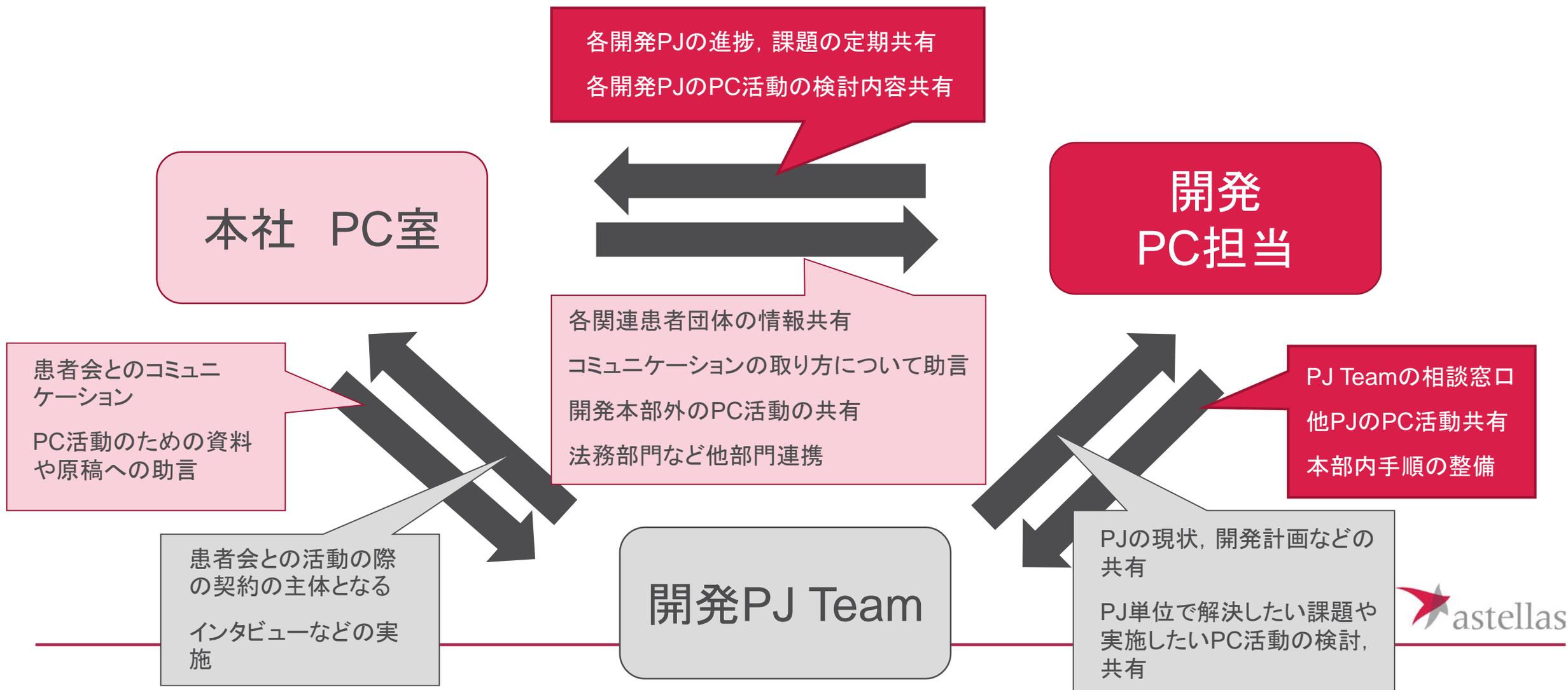
- PC活動協力：事前相談・団体調査・打診・調整、実施
- 情報共有：患者団体からの情報など



基盤整備（法務・コンプライアンス、社会貢献・患者支援部門）

- SOP・ガイドンス・契約書・同意書等の作成整備
- 案件の審査、アドバイス、トレーニング
- 製薬協 患者団体連携推進委員会





実際の活動事例 患者会へのインタビュー

本社 PC室

- ✓ どの患者会にコンタクトすればよいかアドバイス
- ✓ どのような活動であれば実施可能かアドバイス

- ✓ 患者会への打診, 説明
- ✓ インタビュー内容の精査, 資料に関する助言
- ✓ 当日のChair

- ✓ インタビュー後の患者会へのFollow up
- ✓ 結果のFeedback

PC活動の検討

進め方の検討

インタビュー実施

Feedback

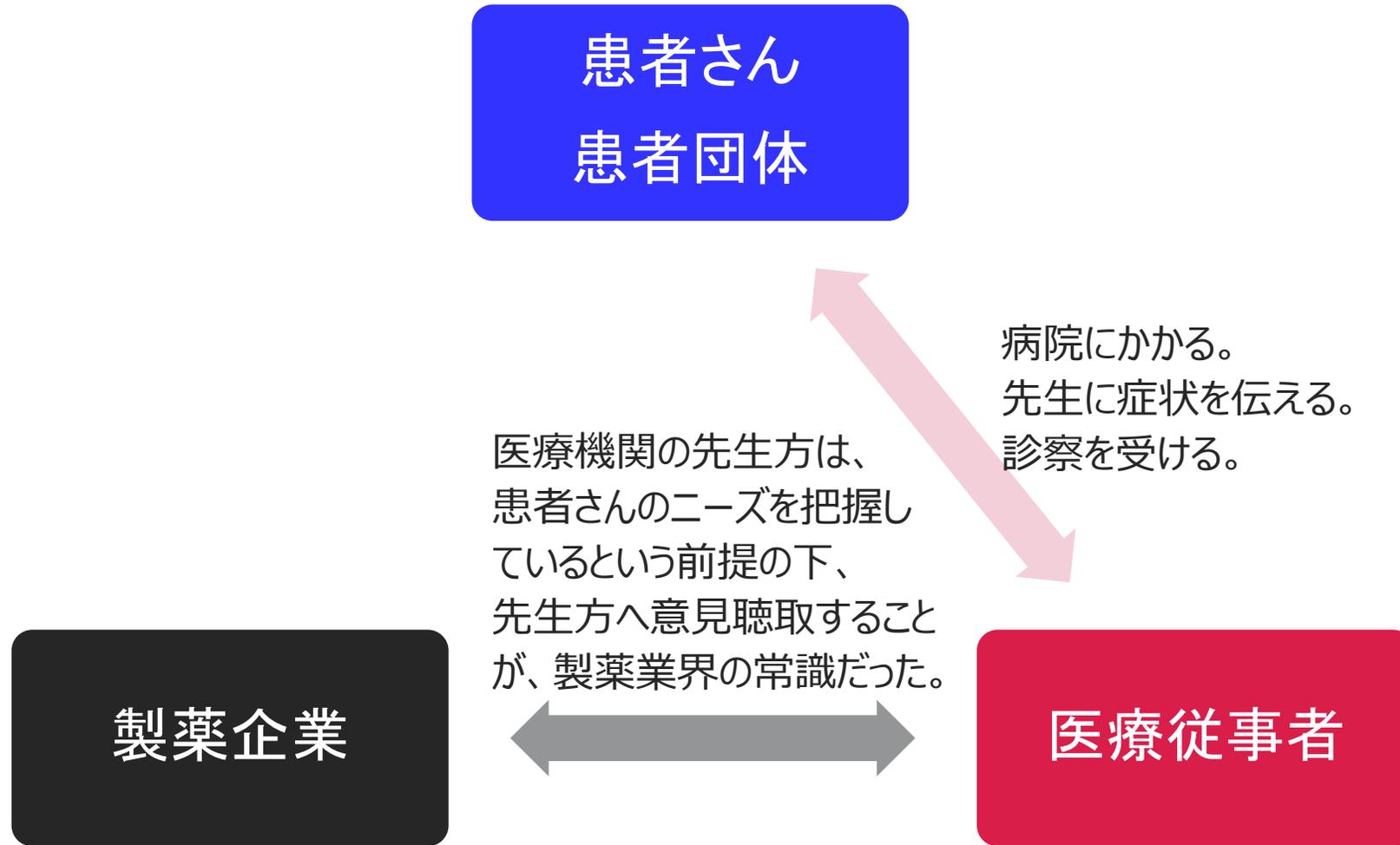
- ✓ 参考となる先行事例の紹介
- ✓ 本社PC室との打ち合わせ設定

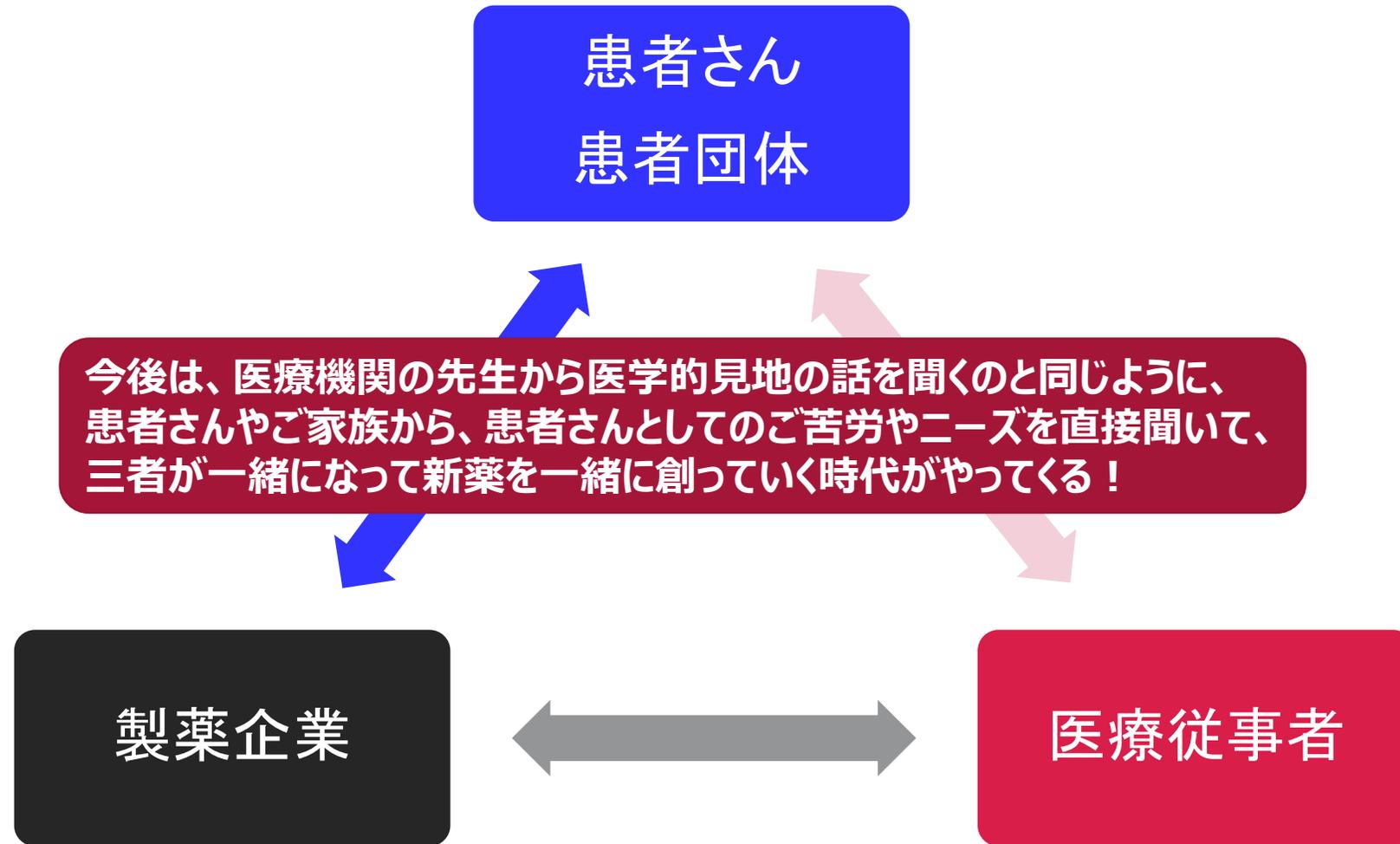
- ✓ 契約など, 手続きについての情報提供, アドバイス
- ✓ インタビュー内容の精査, 資料に関する助言

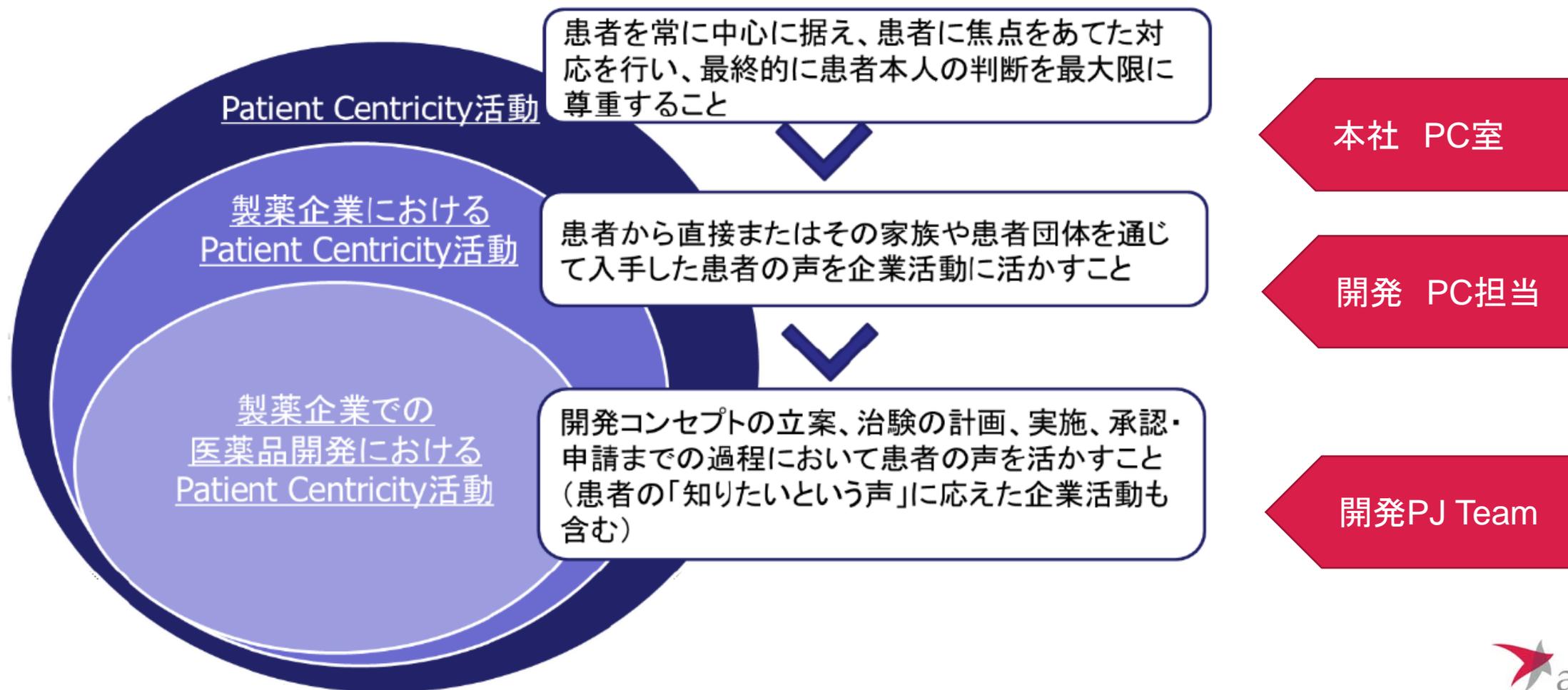
- ✓ テンプレートの修正など, PJを超えた対応の要否を検討
- ✓ 実施した内容を, 事例として本部内に共有

開発
PC担当

新薬開発における協働のこれまでのイメージ

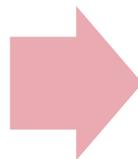
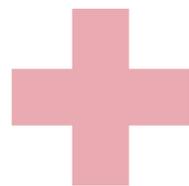








より高い視
座からの
PC活動に
関するInput



PJ担当の
相談窓口,
本部横断的
なサポート

PJ単位でのPC
活動の推進
+
より広い, PC活
動への理解

ご清聴ありがとうございました

13

明日は変えられる。